

安保・戦争国会粉碎へ！

全学連（斎藤郁真委員長）書記局通信

2015年3月29日
No.282

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
<http://www.zengakuren.jp/>

市東さんの農地死守・軍事空港粉碎！ 4/28沖縄デー闘争・6/15国会闘争へ！

3・29三里塚全国集会に結集されたみなさん。
激闘の3月決戦を全力で闘い抜いての総決起&大結集、本当にお疲れ様です。本日の集会を、この間の闘いの集大成としようではありませんか。

反対同盟は、この栗山公園（旧市営グラウンド）での47年ぶりの開催決定に二つの決意を込めています。ひとつは、実力闘争の原点となったこの地で、空港公団分室に攻めのぼった68年、2・26－3・10－3・31以来の闘いを引き継ぎ、実力で市東さんの農地死守を闘うということです。

3月4日、東京高裁・小林明彦裁判長は、一切の証拠調べ・証人調べを行うことなく突如結審を強行しました。一発結審を粉碎し、文書提出命令を出させた耕作権裁判での闘いも含めて、国と空港会社の徹頭徹尾違法・不当な農地強奪、悪辣な犯罪行為が法廷で暴かれる中で、これ以上裁判を続けていては負ける、体制は持たないという悲鳴に他なりません。



市東さんの農地は父親が戦争からの帰還が遅れたため、戦後の農地解放でも解放されなかった残存小作地です。自作地と同等の強固な耕作権があり、耕している限り奪われるはずのないものです。市東さんが裁判に立たされる理由は一ミリたりともありません。

国策のために戦争に取られ、抑留され、解放され

戦争法案粉碎！ 安倍たおせ！

<6・15国会包囲大闘争>

6月15日（月）終日、国会デモや座り込み行動<予定>



<4・28沖縄デー闘争>

～日米新ガイドライン締結阻止！ 辺野古新基地建設許すな！～

4月28日（火）12時半 法政大・市ヶ谷キャンパス集合（13時半にデモ出発）

16時 新橋駅から国会へデモ

（終了後に国会議事堂前で座り込み行動）



なかった農地を、再び国策と称して奪おうという暴挙を絶対に許すことはできません。棄民政策と闘う福島・沖縄の怒りとともに打ち破りましょう。

安倍政権は、資本による自由な農地取得と戦争のために、市東さんの農地強奪をもって耕作者の同意のない底地売買・耕作権の剥奪に先鞭をつけようとしています。

市東さんの農地死守の闘いは、新自由主義農政・戦争阻止の最前線です。米軍・自衛隊の大型空輸機に必要な4000メートル滑走路のための、B滑走路1000メートル延長、第3滑走路計画を粉碎しましょう。

ふたつ目は、空港関係で働く労働者をはじめとした地元住民に安倍打倒を共に闘おうと訴えることです。本日のデモは、空港城下町といわれる成田市の中心部を通ります。行動隊を先頭にした地元商店街へのビラ入れ行動への反応は非常にいいです。

先日、ドイツの格安空港会社の飛行機が墜落するという事故が起こりました。パイロットの精神疾患の問題などと報道されていますが、事故の本質はそんなところありません。

LCCが掲げる格安というのは労働者の労働力を格安で買い叩くということであり、乗客の命を格安で売り飛ばすということです。LCCは、外注化・非正規化による安全無視の権化のようなものです。この間も、エアアジアによるマレーシア沖の墜落事故、台湾でのLCC墜落事故など、頻繁に事故が引き起こされています。絶対に許すことはできません。

にもかかわらず、LCC誘致に空港の延命をかけ、拡張すらたくらんでいるのが、成田空港会社です。4月8日には、LCC専用ターミナルがオープンします。さらに、新規航路開設を促すとして新規就航会社の着陸料の一年間無料を打ち出しています。社会的な必要・需要のためでなく、ただただ、資本の延命、



他国との競争に勝つためにダンピングすら行うというのです。雇用破壊と安全無視の新自由主義と対決し、空港・航空関係で働く労働者の怒りに火をつけ、階級的労働運動の拠点建設を何としても勝ち取ろうではありませんか。

また、空港・航空労働者の獲得は戦争阻止に直結する闘いです。戦争地域への軍事物資の輸送を担うのはJALやNAAの労働者です。戦闘地域への軍事物資の輸送は、シカゴ条約（国際民間航空条約）の保護を受けません。したがって、「合法的に」撃墜させることも可能なのです。イラク戦争の際には、航空労組が自衛官の輸送を拒否したために、ロシアの航空会社が輸送しました。戦争協力阻止の労働者の国際連帯の闘いを今こそ発展させましょう。

戦争に反対し、命を生み出す農地を守り抜くことは何人たりとも否定できない圧倒的正義です。危機にのたうつ国家・資本の延命のために、国境の分断を利用し、人民の命を踏みにじるのが新自由主義的帝国主義です。これを打ち破る力は、労働者・農民・学生の団結・階級的労働運動の拠点建設、労農連帯—国際連帯の中にあります。本日の集会・デモを、4・28沖縄—6・15安保国家粉碎決戦勝利に向けた、労働者・農民・学生の実力闘争の出発点にしようではありませんか。

【当面する行動方針】

●5/16～18沖縄現地闘争—辺野古新基地建設阻止！—

5月16日(土)～18日(月) ひめゆり資料館見学、辺野古現地訪問、県民集会参加、沖縄大で集会など

●武田雄飛丸君「無期停学」処分撤回裁判・第10回＝判決

6月29日(月) 11時～ 東京地裁419号法廷にて

※傍聴券配布のため、10時半までに裁判所入口脇に集合してください。

